



ご門主のお見舞いと 支援に遺族ら感激

被災3カ月 熊本県嘉島町・光恩寺

熊本地震から3カ月 お見舞いに来てくださ
が過ぎた7月16日、本 った。その感謝の気持
堂と庫裏が倒壊した熊 ちから取材を受けた」
本県嘉島町^{かしま}鯨地区の光 と語り、父親王将さん
恩寺を訪ねた。地震で の思い出や地震直後の
亡くなった富岡王将さ 様子を語った。

ん(当時84)宅へお盆参 現在、自宅も農機具
りをする佐々木順信住 小屋も解体して更地と
職に、同行した。 なったまま。残ったの

法要は、長男の謙蔵 はトラクター1台だ
さん(53)家族が避難生 け。「自宅の再建計画
活を送る同町の借家で はあるが、農業を続け
営まれ、王将さんの妻 ていくかどうかはわか
・シノブさん(78)をは らない。父の『反省し
じめ、謙蔵さん、長女 ても後悔はするな』と
・みつ代さん(51)の家 いう口癖を支えに、父
族など11人が参拝。お に恥じないように生き
つとめの後、佐々木住 ていきたい」と話した。
職の法話に耳を傾けた また、夫の田端強さ
(写真) さん(当時67)を亡くし

謙蔵さんは法要後、 た澄子さん(65)は光恩
「葬儀以来、マスコミ 寺に参拝、「いつもそ
の取材は一切受けてこ ばにいる人がいないの
なかった。しかし、全 は寂しい」「落ち着いて
国の寺院、門信徒の方 先のことを考えるゆと
々からお見舞い金や支 りすらなく、きつい」
援金をいただき、6月 と涙を浮かべつつ語っ
にご本山からご門主が た。